



学校便り

赤山川

うるま市立具志川小学校
学校便り 第6号
令和3年11月4日
発行者 與那嶺 忠

引き続きコロナウイルス感染症から

具志川小学校の児童達、ご家族、地域の方々を守る取組にご協力を

全国的に非常事態宣言やまん延防止策が全面解除され、感染者の数も減少傾向という状況になっています。全国各地の観光地に人が集まり始め活気が出ている様子がニュースを通じて伝わってまいります。

沖縄県においても10月の感染予防月間が解除され、商業施設や飲食店なども営業時間がもとに戻り、感染者数も1桁になっております。

これも日ごろの感染症対策とワクチン接種の増加による効果だと専門家の意見は一致しているようです。

本校の運動会も両親、祖父母合わせて6名までの入場と入れ替え制をとるという制限は設けましたが、2年ぶりに観客を入れた運動会が開催できることとなりました。

しかし、感染者数が減り日常生活が戻りつつあるとはいえ、コロナウイルスが殲滅したわけではありません。年末年始にかけて第6波がやってくるとの警鐘もあります。

アメリカではファイザー製のワクチンを5歳から接種するというニュースもありますが、日本ではまだ承認されているわけではありません。

以前にもお伝えしたかもしれませんが、小学生は満12歳になる6年生以外はワクチンの接種はできません。つまり子どもたちは手洗い、マスク着用、消毒を徹底することと3密を避けることが唯一の予防策となるわけです。

私たち学校（特に小学校）は、お預かりしている子供たちの命と健康を守るためにはウイルスへの対応が完全に保証されるまでは気を緩めることなく感染予防対策に力を入れていく必要があります。

すでに文書でもお願いした通り、当日は来校するご家族全員の検温とマスク着用、運動場で感染される際の3密を避けること、お子さんの演技が終了したら引き取られて帰宅する、入れ替え制を遵守することをお願いしております。

どうぞご家庭でも気を緩めることなく、学校の取組みにご理解をいただき、ご協力をお願い申し上げます。

具志川青年会の皆様、エイサーのご指導ありがとうございました。

10月26日（火）に具志川青年会の天願会長をはじめ4人の青年会の皆さんが5、6年生にエイサー指導に来校してくれました。体育館や運動場でみっちり1時間演舞指導をしていただきました。天願会長はこれまでOBの方々が指導に来ていたので、今回初めて現役の会員が来ることができました。と笑顔で話してくれました。

日ごろから地域の伝統を受け継ぐことは大切なことだと思っていた私は、現役の青年たちが直に子どもたちに指導をしていただくことに大変意義のあることと喜びを感じております。青年たちが優しく丁寧に教えてくれる、カッコいい演舞を見せてくれることが子どもたちが将来この経験を生かして地域活性のために尽力してくれることを願っております。天願会長には来年以降もぜひお時間を作ってください直接子どもたちに演舞指導していただくことをお願いしました。運動会本番、子供たちの演舞に期待しています。



P T A作業へのご協力、ありがとうございます。

10月31日（日）のP T A作業には90名あまりの保護者の皆様とお手伝いに来た子どもたちのおかげで予定していた1時間よりも早く作業が終えることができました。運動場を中心にその周辺の草刈りをしていただいたおかげで綺麗な状態で運動会を迎えることができます。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

